

ガ ス 事 業 の あ ゆ み

見附市ガス事業の61年

見附市上下水道局
2021年3月

1 見附市ガス事業の沿革

ガス事業の立ち上げ

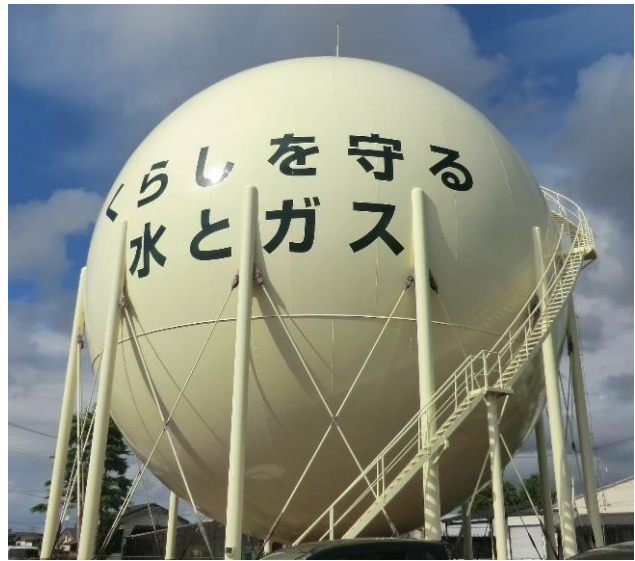
1929（昭和4）年当時、見附町議会で町営ガス事業を実施する議決がされ事業認可も下り実施の段階にあったが、ガス源である大面村（現在の三条市栄地区）のガス量が年々減少するなどの問題で事業実施に至らなかった。

その後、1956（昭和31）年に帝国石油（株）が隣接する中之島村（現在の長岡市中之島地域）でガスの試掘に成功したことにより、当市の市議会で調査研究するために「都市ガス事業調査研究委員会」、「市営ガス事業特別委員会」等々設けて、県下各地のガス事業を調査研究し、1958（昭和33）年7月14日の市議会において、3ヶ年計画で実施することを議決した。

また、事業実施に伴う原料ガス購入を帝国石油（株）と交渉していたが、受入施設の建設等で話し合いが付かず交渉が不調となり、一時は市営ガス事業の実施が困難となったが、当時、見附市内において数本の石油井試掘を行っていた石油資源開発（株）が葛巻地区における豊富な石油ガスの埋蔵が確認されたため、市営ガス事業特別委員会において原料ガス購入の交渉先を石油資源開発（株）へ変更し、原料ガス売買契約の締結に至った。

ガス事業の始まり

そして、1958（昭和33）年12月25日、事業の認可を経て工事着手、1959（昭和34）年10月26日に見附地区（見附供給所・有水ホルダー2,000m³）、同年12月10日に今町地区（今町ガス供給所・有水ホルダー750m³）と供給を開始し、同年度期末の需要家件数は2,222件となり、1962（昭和37）年12月24日には中之島村（現在の長岡市中之島地域）の一部にも供給をすることができた。供給を開始後、1963（昭和38）年度末には、需要家数も4,000件を超え、ガスの需要も着実に伸び、1967（昭和42）年12月に第二ガス供給所（球形ホルダー1,000m³、有水ホルダー1,000m³）を建設し、安定供給の強化に取り組んだ。1967（昭和42）年以降のガスの需要は、経済の好況と旺盛な住宅建設により堅調、堅実な伸びを示し、1970（昭和45）年度末には6,000件を超え6,027件となった。伸びる需要に対して、ガスの供給圧力確保と安定供給を図るため、熱量変更事業（4,500Kcal から10,000Kcal）を1970（昭和45）年度から準備し、需要家数として延べ4,128名、調整ガス器具台数2万7,500台を所要経費2,531万円を投じ1971（昭和46）年に実施した。



高まるガス需要

ガスの需要は更に伸び続け、需要最大日1日分の貯蔵量確保が課題となり、1977（昭和52）年見附中央ガス供給所（球形ホルダー4,000m³ 1基）の建設を計画し、総事業費3億25万円を投じ同年12月に完成し、需要最大日1日分の貯蔵量を確保し、供給能力を増強した。

これ以降もガスの需要は堅調に増え続け、見附市内に新潟県営工業団地造成計画もあったことから、1995（平成7）年度から1996（平成8）年度にかけて、見附中央ガス供給所へ球形ホルダー1基（6,060m³）総事業費2億9,169万7千円を投じ増設し、更なる貯蔵量の確保と供給能力の増強を図った。

2003（平成15）年度に、需要家数は1万2,830件、販売量は、2007（平成19）年度に1,714万3千m³と過去最大値となったが、その後は、少子高齢化の影響や生活様式等の変化もあり件数及び販売量ともに減少傾向となった。

二つの災害

2004（平成16）年7月13日、「平成16年7月新潟・福島豪雨」が発生。この豪雨により見附市と中之島町（現在の長岡市中之島地域）を流れる一級河川刈谷田川の堤防が決壊し、中之島地内のガス本管が破損、本管への河川水流入により閉塞し275戸の需要家のガス供給が17日間停止となった。

同年10月23日、17時56分に新潟県中越地震が発生し、見附市内における震度は5強（気象庁発表）、中央ガス供給所設置地震計において79カイン・522ガルを測定、被害状況及び漏えい通報の状況により、2次災害発生防止のため供給区域全域（1万2,747戸）のガス供給を停止した。被災後2日後から日本ガス協会から復旧応援をいただきながらブロック毎に漏えい確認を実施しながら復旧作業にあたり、11月30日には建物が倒壊し復旧不能となった一部を除いて復旧作業を完了することができた。また、需要家への支援として、「臨時仮設工事費の負担」、「納期限の1か月延長」、「ガスを使用しなかった場合の基本料金の免除」、「地震で被害を受けた灯外内管修繕費の市負担」を実施した。

また、新潟県中越地震における供給設備の被害状況としては、第二ガス供給所設置の球形ガスホルダー（1,000m³）の脚柱基礎ボルト破断を確認し、余震による災害防止のためガス放散作業をし、使用を停止し補強工事を実施したが、その後、2006（平成18）年に根本的な修繕はできないと判断し、第二ガス供給所に設置された球形ガスホルダー（1,000m³）及び有水ホルダー（1,000m³）を撤去することとなった。

都市ガス供給の自由化

2009（平成21）年3月に経済産業省は、原料価格の急激かつ大幅な変動といった環境変化を踏まえた一般ガス事業料金算定規則を改正した。当市においても原料価格の変動、値上がりや値下がりやをガス料金に反映させるため、原料価格の変動に応じて3ヶ月ごとに単位料金を調整し、調整単位料金を用いる原料費調整制度を導入し、2010（平成22）年3月にガス料金を、小口部門全体として平均3.85%の値上げの料金改定を行った。

2015（平成27）年にエネルギー分野のシステム改革関連法案が通常国会において成立し、2017（平成29）年4月から一般ガス事業者による都市ガス小売りの地域独占を撤廃し、登録を受けた事業者であればガスの小売事業へ参入を可能とするガス事業法の改正が行われた。この法律改正により、一般ガス事業者であった当市においても一般ガス導管事業者となるべく託送供給約款の認可申請及びガス小売事業者となる届出を関東経済産業局へ行い、都市ガス自由化への対応を実施した。

当市ガス事業の最終年度である２０１９（令和元）年度末、需要家数は１万２，１５３件、販売量は１，４０５万２千ｍ³となり事業開始から５倍以上の需要家数となり、供給区域における世帯数に対する普及率は８０．２％と、見附市において生活や産業に欠くことのできないエネルギーとなった。

ガス事業の民営化検討から事業譲渡まで

２００６（平成１８）年７月「見附市自律推進プログラム」が策定され、当市ガス事業の民営化の是非を検討する「見附市ガス事業民営化検討委員会」を２００７（平成１９）年１２月に設置し、年間の契約数量１０万ｍ³以上のである大口需要家について、同年４月から自由化となり、当市行政改革及びガス事業法改正による影響も含め、民営化について検討したが、当市ガス料金の低廉性や保安面の維持が継続可能という判断に至り、２００８（平成２０）年３月、公営事業としての事業継続を判断した。

その後、およそ１０年後の２０１７（平成２９）年３月に、４月から実施されるガスシステム改革によるガス供給の全面自由化に伴う経営環境の変化を踏まえたガス事業の事業評価を実施し、同年７月に「早期に民営化することが望ましい」と、ガス事業評価委員会から市長へ答申がなされた。

答申の概要は、需要家数１万２千件と小規模事業あるため経済性を活かした経営の効率化・合理化を図ることに限界があること、持続的・安定的な保安確保のための人材不足の懸念、国産天然ガス価格の優位性が無くなることや公営ガス事業での総合エネルギー企業化への追従が困難など当市ガス事業を持続的に発展させることができるパートナーシップが構築できる事業者へ引き継ぐことを望むといったものであった。



この答申を受け、２０１８（平成３０）年４月から翌年２月までの期間において、ガス事業譲渡先選定委員会を設置し、当市ガス事業の譲渡先の募集から選考までを行い、２０１９（平成３１）年２月１３日に北陸瓦斯株式会社（本社：新潟市）を事業譲渡先を選定した。その後、およそ１年をかけガス事業の引継ぎを行い、２０２０（令和２）年４月１日にガス事業を北陸瓦斯株式会社へ譲渡した。事業譲渡価格は、３８億円（消費税抜）での売却となった。

２ 見附市ガス事業年表

年 号	できごと
１９５８（昭和３３）年	事業認可
１９５９（昭和３４）年７月	見附ガス供給所建設（有水ホルダー２，０００ｍ³ １基）
同 １０月	見附地区１，２００戸へ供給開始
同 １２月	今町地区６００戸へ供給開始
１９６１（昭和３６）年	今町ガス供給所建設（有水ホルダー７５０ｍ³ １基）

年 号	できごと
1962(昭和37)年	中之島村(現長岡市中之島地域)供給開始
同年 12月	LPGガス販売事業を開始(昭和44年廃止)
1967(昭和42)年	第二ガス供給所建設(球形ホルダー1,000m ³ 1基、有水ホルダー1,000m ³ 1基)、監視機能を移転
同年	お客様件数5,000件を超える(昭和42年度末 5,004件)
1970(昭和45)年	お客様件数6,000件を超える(昭和45年度末 6,035件)
1971(昭和46)年	熱量変更実施 (4,500kcal/m ³ から10,000kcal/m ³ に転換)
1970(昭和49)年	お客様件数7,000件を超える(昭和49年度末 7,163件)
1977(昭和52)年	中央ガス供給所建設(球形ホルダー4,000m ³ 1基)、監視機能を移転
1978(昭和53)年	お客様件数8,000件を超える(昭和53年度末 8,192件)
1982(昭和57)年	お客様件数9,000件を超える(昭和57年度末 9,446件)
1986(昭和61)年	町制施行により中之島村が中之島町となる
同年	お客様件数10,000万件を超える(昭和61年度末 10,025件)
同年	中央ガス供給所 球形ガスホルダー開放検査の実施
1988(昭和63)年	第二ガス供給所 球形ガスホルダー開放検査の実施
1991(平成3)年	お客様件数11,000件を超える(平成3年度末 11,029件)
1995(平成7)年	お客様件数12,000件を超える(平成7年度末 12,053件)
同年	中央ガス供給所 球形ガスホルダー開放検査の実施
1996(平成8)年	中央ガス供給所増設(球形ホルダー6,060m ³ 1基)
同年	最低責任使用量付区画別通減制から複数二部料金制に移行
1997(平成9)年	見附ガス供給所 有水ホルダー(2,000m ³)撤去
1999(平成11)年	今町ガス供給所 有水ホルダー(750m ³)撤去
2000(平成12)年	選択約款(時間帯別B契約、空調夏期契約)による料金制度を設ける
同年	今町ガス供給所を廃止、今町4丁目整圧室へ改造する
2001(平成13)年	中央ガス供給所 No.1球形ガスホルダー開放検査の実施
2004(平成16)年7月	供給区域の見直しを行い、青木町、山吉町、太田町、河野町、下関町、三林町を区域から外した(平成16年7月12日認可)
同年 7月	平成16年7月新潟・福島豪雨(7.13水害) 刈谷田川堤防決壊により一部供給停止
同年 10月	新潟県中越地震により、供給区域全域を供給停止
同年	災害に対する各種支援策の実施 ・臨時仮設工事費の負担

年 号	できごと
	・納期限の１ヶ月延長 ・ガスを使用しなかった場合の基本料金の免除 ・地震で被害を受けた灯外内管修繕費の市負担
２００５（平成１７）年	中之島町が長岡市に編入合併となる
２００６（平成１８）年	第二ガス供給所球形ホルダー（１，０００ｍ³）、有水ホルダー（１，０００ｍ³）撤去
２００７（平成１９）年 ７月	新潟県中越沖地震の発生
同年 １２月	見附市ガス事業民営化検討委員会において民営化検討
２００８（平成２０）年 ３月	見附市ガス事業民営化検討委員会において「今後も公営事業として継続する」と答申
２０１０（平成２２）年 ２月	原料費調整制度の導入
２０１１（平成２３）年 ３月	東日本大震災、長野県北部地震の発生
２０１４（平成２６）年	家庭用コージェネレーションシステム契約の料金制度を設ける
同年	中央ガス供給所 No.１球形ガスホルダー開放検査の実施
２０１７（平成２９）年 ３月	見附市ガス事業評価委員会設置・開催。 事業の民営化の是非と将来のガス事業の望ましい経営の在り方を審議
同年 ４月	ガスシステム改革の実施（ガス小売全面自由化）
同年	ガス小売供給約款の設定による料金改定 ガス小売全面自由化及び国産天然ガスの原料費調整制度導入に伴い、一般ガス供給約款を廃止し、新たにガス小売供給約款を設定
同年	選択約款の変更による料金改定 ガス小売全面自由化及び国産天然ガスの原料費調整制度導入に伴い、ガス時間帯別Ｂ契約、ガス空調夏期契約、家庭用ガスコージェネレーション契約選択約款を変更
同年	託送供給約款の変更による料金改定 ガス最終保障供給約款の設定と変更
同年	中央ガス供給所 No.２球形ガスホルダー開放検査の実施
同年 ７月	見附市ガス事業評価委員会において、「早期に民営化することが望ましい。」と答申
２０１８（平成３０）年 ４月	見附市ガス事業譲渡先選定委員会設置・開催
同年 ９月	見附市ガス事業譲渡に関する募集要項、提案要領を公表し公募開始
２０１９（平成３１）年 ２月	見附市ガス事業譲渡先選定委員会が、最優秀提案者を北陸瓦斯（株）、優秀提案者を堀川産業（株）として市長へ報告 優先交渉権者として北陸瓦斯（株）に決定する
同年 ２月	北陸瓦斯（株）と見附市ガス事業譲渡に係る基本協定書を締結
同年 ４月	北陸瓦斯（株）と見附市ガス事業譲渡に係る仮契約書を締結
２０１９（令和元）年 ６月	見附市議会６月定例会議において、ガス事業譲渡に関する議案が可決されたことにより、本契約締結
同年 ９月	関東経済産業局へ事業譲渡譲受認可申請

年 号	できごと
同年 1 1 月	事業譲渡譲受認可申請が許可
同年 1 1 月	ガス事業譲渡に伴う託送供給約款変更認可申請
2 0 2 0（令和2）年 1 月	託送供給約款変更認可申請が許可
同年 4 月	本市ガス事業を北陸瓦斯（株）へ譲渡

3 統計資料

◆見附市ガス事業の現況

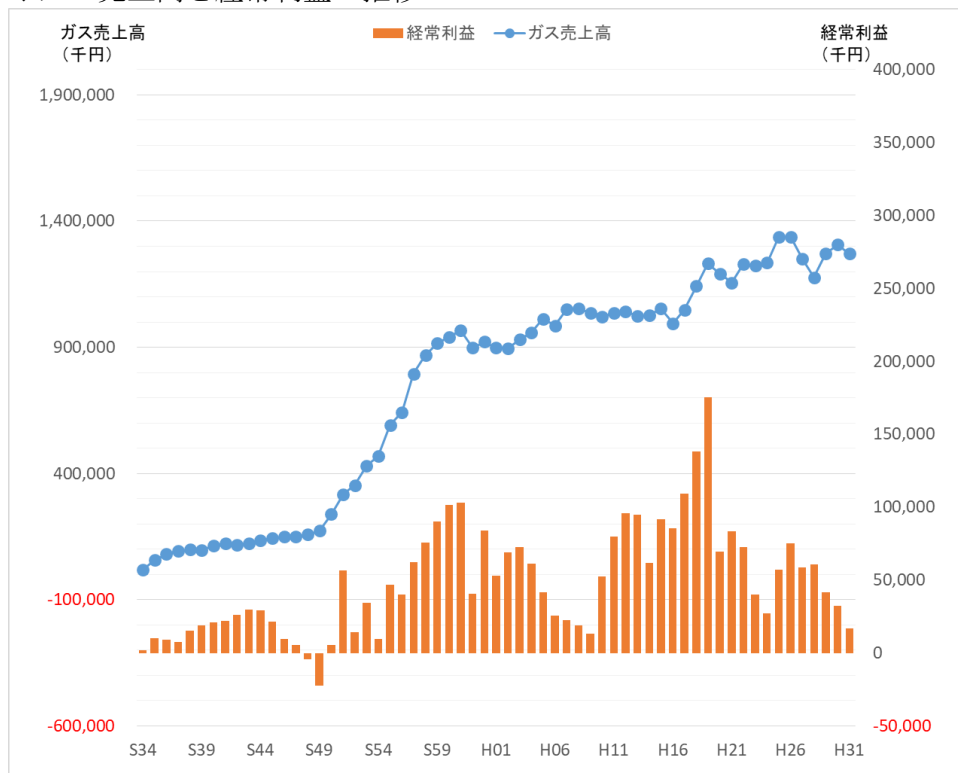
項 目	内 容
供 給 区 域	見附市 本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目、本町4丁目、新町1丁目、新町2丁目、新町3丁目、嶺崎1丁目、嶺崎2丁目、学校町1丁目、学校町2丁目、南本町1丁目、南本町2丁目、南本町3丁目、葛巻1丁目、葛巻2丁目、葛巻3丁目、本所1丁目、本所2丁目、細越1丁目、細越2丁目、元町1丁目、元町2丁目、双葉町、昭和町1丁目、昭和町2丁目、月見台1丁目、月見台2丁目、緑町、本町、嶺崎町、仁嘉町、内町、本所町、戸代新田町、島切窪町、山崎興野町、石地町、庄川新田町、庄川町、庄川平町、椿澤町、田井町、山崎町、耳取町、鳥屋脇町、熱田町、名木野町、明晶町、池之内町、反田町、葛巻町、北野町、傍所町、鹿熊町、速水町、柳橋町、福島町、市野坪町、加坪川町、新幸町、新潟町、小栗山町、指出町、下鳥町、片桐町、美里町、芝野町、下新町、漆山町、今町1丁目、今町2丁目、今町3丁目、今町4丁目、今町5丁目、今町6丁目、今町7丁目、今町8丁目、坂井町1丁目、今町、上新田町、釈迦塚町、田之尻町、坂井町 長岡市 中之島
供給世帯数及び普及率	12,141世帯 80.2% (供給区域内世帯数に対する普及率)
メー ター 取 付 数	12,930個
販 売 量	14,051,609m ³ (H31年4月～R2年3月) ※ 1m ³ =41.8605MJ
送 出 量	14,416,262m ³ (H31年4月～R2年3月) ※ 1m ³ =41.8605MJ
一 日 平 均 販 売 量	38,392m ³ /日
一 日 最 大 販 売 量	69,706m ³ /日 (R2.2.6)
月平均販売量(一般家庭用)	42.61m ³ /月
一日平均販売量(一般家庭用)	1.40m ³ /日
ガ ス の 種 類	13A (標準熱量41.8605MJ)
職 員 数	14人

◆需要家数と販売量の推移

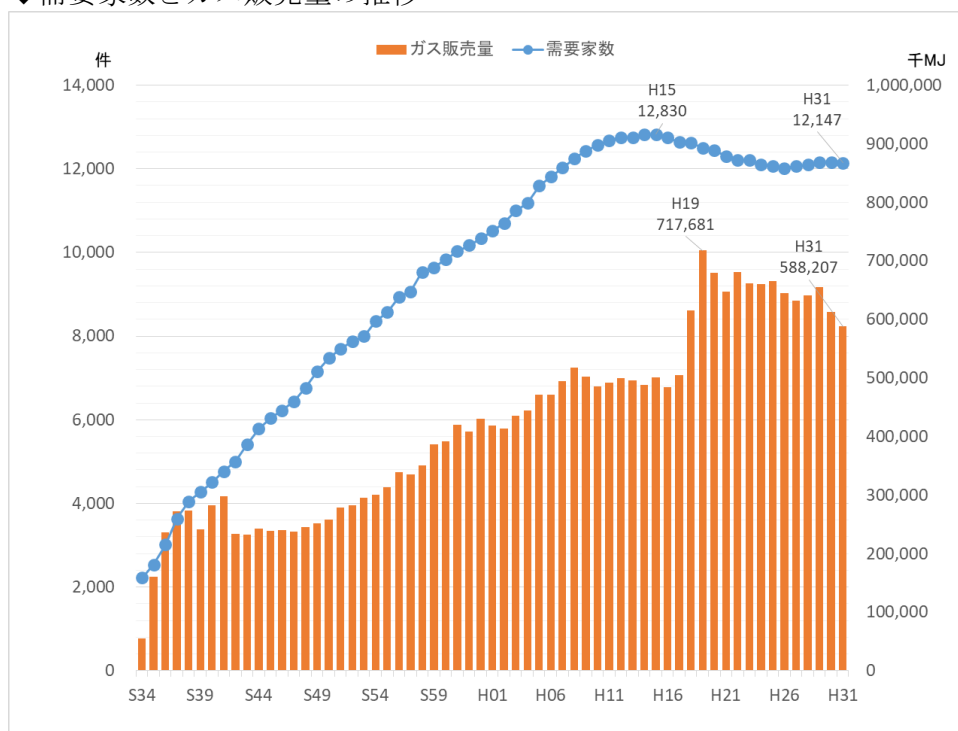
年	年度		需要家数	ガス販売量	ガス売上高	経常利益
			件	1000MJ	千円	千円
1	S34	1959	2,222	55,433	19,645	1,637
2	S35	1960	2,535	160,267	56,585	9,968
3	S36	1961	3,012	236,574	80,169	9,072
4	S37	1962	3,637	271,542	92,424	7,750
5	S38	1963	4,050	273,486	99,154	15,304
6	S39	1964	4,275	240,675	97,674	18,705
7	S40	1965	4,506	282,274	113,295	20,855
8	S41	1966	4,770	297,467	123,696	21,852
9	S42	1967	5,004	233,589	117,754	25,973
10	S43	1968	5,404	232,259	123,803	29,924
11	S44	1969	5,788	242,114	135,005	29,104
12	S45	1970	6,035	239,106	143,678	21,428
13	S46	1971	6,222	239,587	148,577	9,500
14	S47	1972	6,444	237,070	149,703	5,618
15	S48	1973	6,763	244,733	158,076	△ 4,457
16	S49	1974	7,163	251,301	173,735	△ 22,246
17	S50	1975	7,476	258,329	238,877	5,280
18	S51	1976	7,696	277,978	317,413	56,778
19	S52	1977	7,872	282,495	353,135	14,350
20	S53	1978	8,001	295,252	431,096	34,578
21	S54	1979	8,354	299,849	468,840	9,825
22	S55	1980	8,571	312,692	592,320	46,632
23	S56	1981	8,929	338,920	642,629	40,181
24	S57	1982	9,067	335,405	794,611	62,402
25	S58	1983	9,539	350,404	870,044	75,500
26	S59	1984	9,645	386,220	915,207	90,152
27	S60	1985	9,831	391,010	940,722	101,718
28	S61	1986	10,028	420,196	966,798	102,878
29	S62	1987	10,178	407,687	897,704	40,663
30	S63	1988	10,339	430,094	922,177	83,741
31	H01	1989	10,516	418,253	897,657	52,738
32	H02	1990	10,704	413,690	895,948	68,953
33	H03	1991	11,001	434,994	931,598	72,457
34	H04	1992	11,185	444,325	959,018	61,228
35	H05	1993	11,599	471,763	1,012,407	41,711
36	H06	1994	11,811	471,180	986,074	25,706
37	H07	1995	12,024	494,800	1,051,044	22,531
38	H08	1996	12,239	517,015	1,052,701	18,877
39	H09	1997	12,428	501,612	1,037,466	13,348
40	H10	1998	12,564	486,046	1,021,151	52,405
41	H11	1999	12,678	491,963	1,035,936	79,977
42	H12	2000	12,758	499,890	1,042,826	95,753
43	H13	2001	12,745	495,290	1,023,605	94,553
44	H14	2002	12,817	487,535	1,027,415	61,581
45	H15	2003	12,830	500,880	1,053,634	91,649
46	H16	2004	12,747	483,815	994,888	85,300
47	H17	2005	12,641	504,232	1,048,794	108,991
48	H18	2006	12,621	615,291	1,143,392	138,308
49	H19	2007	12,506	717,681	1,232,694	175,449
50	H20	2008	12,436	679,190	1,191,245	69,715
51	H21	2009	12,301	647,216	1,156,724	83,572
52	H22	2010	12,211	680,216	1,229,667	72,411
53	H23	2011	12,202	661,913	1,222,566	39,857
54	H24	2012	12,101	660,633	1,235,785	27,316
55	H25	2013	12,060	665,265	1,336,235	57,027
56	H26	2014	12,011	645,233	1,338,205	75,011
57	H27	2015	12,067	632,059	1,250,351	58,437
58	H28	2016	12,102	640,972	1,176,551	60,649
59	H29	2017	12,156	654,462	1,272,935	41,773
60	H30	2018	12,159	612,286	1,307,005	32,286
61	R01	2019	12,147	588,207	1,271,365	16,846

需要家数：件 ガス販売量：1000MJ

◆ガス売上高と経常利益の推移



◆需要家数とガス販売量の推移



◆販売実績

区分		H27		H28		H29		H30		R01		
		件数	販売量	件数	販売量	件数	販売量	件数	販売量	件数	販売量	
家庭用	小口	11,178	6,318,255	11,217	6,140,752	11,285	6,489,411	11,291	5,948,732	11,296	5,775,794	
商業用	大口	0	0	0	0	1	271,896	1	212,175	1	177,349	
	小口	637	766,451	631	751,314	620	996,401	618	930,919	610	868,069	
工業用	大口	3	5,307,653	3	5,453,263	3	4,883,841	3	4,628,244	3	4,408,379	
	小口	27	1,091,995	27	1,144,449	24	1,118,043	24	1,178,296	23	1,200,551	
その他用	医療用	大口	1	279,700	1	296,974	1	330,141	1	357,887	1	295,804
		小口	54	81,054	54	79,616	53	81,852	50	67,226	49	63,394
	公用	大口	2	267,956	1	138,894	1	151,043	1	147,183	1	151,637
		小口	165	984,799	168	1,306,840	168	1,299,311	170	1,154,459	169	1,110,632
合計	大口	6	5,855,309	5	5,889,131	6	5,636,921	6	5,345,489	6	5,033,169	
	小口	12,061	9,242,554	12,097	9,422,971	12,150	9,985,018	12,153	9,279,632	12,147	9,018,440	
	計	12,067	15,097,863	12,102	15,312,102	12,156	15,621,939	12,159	14,625,121	12,153	14,051,609	

件数：年度末調定件数 年間販売量：m³ 1m³=41.8605MJ

◆ガス1日最大供給量の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R01
日 付	H28.1.19	H29.1.24	H30.1.26	H31.1.9	R2.2.6
最大供給量	m ³ /日 68,996	m ³ /日 72,812	m ³ /日 70,609	m ³ /日 70,123	m ³ /日 69,706

◆ガス本支管延長の推移 (日本ガス協会実施 ガス事業調査より)

年 度	H27	H28	H29	H30	R01
中 圧 管	m 32,361	m 32,352	m 32,352	m 32,413	m 33,040
低 圧 管	236,073	237,853	238,013	238,225	234,781
合 計	268,434	270,205	270,365	270,638	267,821

中圧管：ガスによる圧力で0.1MPa以上1MPa未満のもの

中圧A 0.3MPa以上1MPa未満

中圧B 0.1MPa以上0.3MPa未満 (見附市における中圧管)

低圧管：ガスによる圧力で0.1MPa未満のもの

◆施設概要

(1) 中央ガス供給所

位置	見附市葛巻2丁目5番20号
建物	管理室、配管室、車庫、倉庫
球形ホルダー	No.1 直径22.7m、高さ26.93m、容量6,060m ³ 公称能力 60,000m ³ (6,060m ³ ×9.9kg/m ³) 0.99MPa No.2 直径19.7m、高さ22.75m、容量4,000m ³ 公称能力 32,000m ³ (4,000m ³ ×8.0kg/m ³) 0.8MPa
設備	中央遠隔制御装置 (テレメーター、テレコン)、付臭装置、電気計装装置、配管装置

(2) 見附ガス供給所

位置	見附市学校町2丁目8番1号
建物	管理室、配管室、倉庫
設備	電気計装装置、配管装置

(3) 第二ガス供給所

位置	見附市南本町2丁目21番15号
建物	管理棟
設備	電気計装装置、配管装置

(4) 地区整圧室

今町4丁目整圧室	見附市今町4丁目12番1号
今町1丁目整圧室	見附市今町1丁目11番
戸代整圧室	見附市戸代新田町116-2
新潟整圧室	見附市新潟町2560-4
柳橋整圧室	見附市柳橋町574-4
本所整圧室	見附市本所1丁目10番
名木野整圧室	見附市名木野町664-1
庄川整圧室	見附市庄川町2152
坂井整圧室	見附市今町8丁目3番
流通団地整圧室	見附市速水町
昭和町整圧室	見附市昭和町1丁目
緑町整圧室	見附市緑町
中之島整圧室	長岡市中之島

◆ ガス料金表（令和2年3月時点） 熱量 1m³=41.8605MJ (消費税抜き)

区分	1ヶ月の使用量	基本料金 円/月	従量料金単価	
			基準単位 円/m ³	調整単位 円/m ³
A	0m ³ ～25m ³ まで	600	90.10	102.16
B	25m ³ を超え250m ³ まで	806	81.86	93.92
C	250m ³ を超えるもの	1,966	77.22	89.28

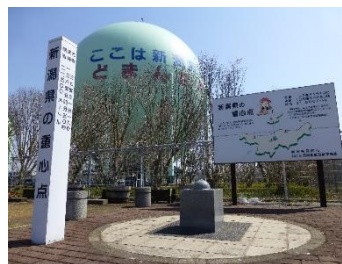
項目	金額
基準平均原料価格 円/t	36,600
平均原料価格 円/t	52,980 (10円未満四捨五入)
原料価格変動額 円/t	16,300 (100円未満切捨て)
原料費調整額 円/m ³	12.06 (小数点第3位切捨て)

◆ ガス事業譲渡金額

入金日	項目	譲渡金額 円	うち消費税 円	備考
R2.4.30	流動資産以外の譲渡金額	4,169,105,865	369,105,865	土地譲渡価格は不課税
R2.7.31	流動資産の譲渡金額	155,809,743	745,054	製品ガス、貯蔵メーター分の消費税額
	合 計	4,324,915,608	369,850,919	

◆ガス事業施設写真

中央ガス供給所



見附ガス供給所



今町4丁目整圧室



戸代整圧室



第二ガス供給所



今町1丁目整圧室



新潟整圧室



柳橋整圧室



本所整圧室



名木野整圧室



庄川整圧室



坂井整圧室



流通団地整圧室



昭和町整圧室



緑町整圧室



中之島整圧室



◆歴代市長・局長

年度	市長	局長(課長)	備考
1959 (S34)	目黒 忠平		
1960 (S35)	〃	風間 栄三郎	臨時ガス課
1961 (S36)	〃	星野 敏孝	ガス水道課
1962 (S37)	〃	〃	〃
1963 (S38)	〃	長谷川 勝美	ガス課
1964 (S39)	〃	〃	〃
1965 (S40)	〃	〃	〃
1966 (S41)	〃	〃	〃
1967 (S42)	内山 文雄	三沢 博	〃
1968 (S43)	〃	〃	〃
1969 (S44)	〃	林 良平	ガス水道課
1970 (S45)	〃	〃	〃
1971 (S46)	〃	〃	〃
1972 (S47)	〃	〃	〃
1973 (S48)	〃	大野 敏夫	〃
1974 (S49)	〃	〃	〃
1975 (S50)	〃	〃	〃
1976 (S51)	〃	〃	〃
1977 (S52)	〃	坂井 省二	〃
1978 (S53)	〃	〃	〃
1979 (S54)	関 利栄	大川戸 一衛	〃
1980 (S55)	〃	〃	〃
1981 (S56)	〃	〃	〃
1982 (S57)	〃	五十嵐 富夫	〃
1983 (S58)	内山 文雄	大野 敏夫	〃
1984 (S59)	〃	小林 昭五	〃
1985 (S60)	〃	稲田 順一	〃
1986 (S61)	〃	〃	〃
1987 (S62)	〃	島田 実	〃
1988 (S63)	〃	〃	〃
1989 (H01)	〃	〃	〃
1990 (H02)	〃	〃	〃
1991 (H03)	〃	稲田 篤	〃
1992 (H04)	〃	〃	〃
1993 (H05)	〃	〃	〃
1994 (H06)	〃	〃	〃
1995 (H07)	大塩 満雄	磯部 富士栄	〃
1996 (H08)	〃	稲田 順一	ガス水道局
1997 (H09)	〃	〃	〃
1998 (H10)	〃	〃	〃
1999 (H11)	〃	佐野 三男	〃
2000 (H12)	〃	〃	〃
2001 (H13)	〃	本戸 富明	〃
2002 (H14)	〃	〃	〃
2003 (H15)	久住 時男	小林 守助	〃
2004 (H16)	〃	柳原 哲映	ガス上下水道局
2005 (H17)	〃	平賀 大介	〃
2006 (H18)	〃	〃	〃
2007 (H19)	〃	〃	〃
2008 (H20)	〃	〃	〃
2009 (H21)	〃	〃	〃
2010 (H22)	〃	〃	〃
2011 (H23)	〃	〃	〃
2012 (H24)	〃	〃	〃
2013 (H25)	〃	長谷川 仁	〃
2014 (H26)	〃	〃	〃
2015 (H27)	〃	〃	〃
2016 (H28)	〃	〃	〃
2017 (H29)	〃	細川 與司勝	〃
2018 (H30)	〃	〃	〃
2019 (R01)	〃	〃	〃